



# 神宮寺便り



## 謹賀新年

旧年中は、神宮寺を護持頂き、誠にありがとうございました。お陰様で無事に新年を迎えることができました。

振り返りますと、昨年は毎月京都出張があり、僧侶の原点である本山東寺をゆっくりと見つめ直す気付きがたくさんありました。今年は、それを還元する一年にしたいと思います。

皆様に、本年も本尊観音様の深き妙智力が無限に降り注ぎます様に祈念しております。

## 琉球人の誇り

良啓

先日、法事先の仏間に古い扁額が掲げられていて、年代を一目見て、ニヤリとしました。そこに書かれていたのは「光緒（こうしよ又はこうちよ）」と言う中国の元号でした。

光緒は、西暦1875〜1908年。日本の元号なら明治8〜41年に当たります。この時期は琉球処分があり、琉球王国↓琉球藩（1872年）↓沖縄県（1879年）と言う激動の真つ只中。ウチナーンチュは、琉球人↓日本人に国籍が変更になった訳ですから、大変な出来事です。

その中で、興味深いのが元号です。日本政府は、1879年の沖縄県設置に伴い、それまで琉球王国で使用されていた中国元号を改め、日本元号を使用することを通達します。しかし、琉球は独立国家であり、長年、中国（ちなみにこの時代は清でした）と朝貢関係にあった為、元号移行に不満がありました。それで、県設置以降もしばらくは、民間では日付を中国元号で表記することにこだわっていました。

きつと、冒頭の扁額揮毫者も、その様な誇り高き琉球人だったのでは無いでしょうか？末裔として、先人の誇りを大切にしたいですね。



## 新年参りについて

新年あけましておめでとうございます。

2023年は5月に新型コロナウイルスが五類移行になり、ようやく以前の生活に戻って来た年でしたね。

以前のように対面のコミュニケーションが戻ってきた一方、コロナ禍の利便性をそのまま採用している社会も多く見受けられるようになりました。

神宮寺ではコロナ禍に安全の面から【分散参拝】をお勧めしてきました。

その理由としては・・・元々お寺や沖縄には、正月三が日以外の日でも新年を祝う縁日が、習慣として存在していたからでございます。

それに加え分散してお参りして頂くことで、人混みを避け、感染症予防にもなりますね。古き元からの習慣と新しきをミックスをして、日々の生活もアップデートしていったら良いですね。

どうぞ仏様と縁日を結ばれてくださいませ。ぜひお参りお待ちしております。

二〇二三年

十二月三十一日(金) 除夜の鐘つき

※完全予約制です。予約の方のみ整理券をお配りしております。

(整理券のない方はつくことが出来ませんので、お気を付けてください。)

二〇二四年

一月一日〜一月三日 新正月

一月八日(月) 初薬師(健康を願う薬師如来の縁日)

一月十八日(木) 初観音(諸願成就の観音菩薩の縁日)

一月二十一日(日) 初大師(諸願成就の弘法大師空海の縁日)

一月二十八日(日) 初不動(炎で浄化をする不動明王の縁日)

二月十日(土) 旧正月



奈緒子

